

## 軍事郵便

### 軍事郵便

(北谷町公文書館蔵)

戦地にいる兵士とその家族をはじめとした国内の人々をつなぐ軍事郵便制度は、日清戦争時の1894年(明治27)に始まりアジア太平洋戦争後の1946年(昭和21)まで続きました。

戦前の北谷村宛てに出されたこれらのハガキは、元米陸軍兵が米国で長年保管していたものです。戦後70年余り経過した今年、送り主の家族に返還されました。

(左下の高宮城三郎氏宛てのハガキは未だ返還先が不明となっています。何かご存知のことがありましたら、北谷町公文書館へ情報提供をお願いします。)

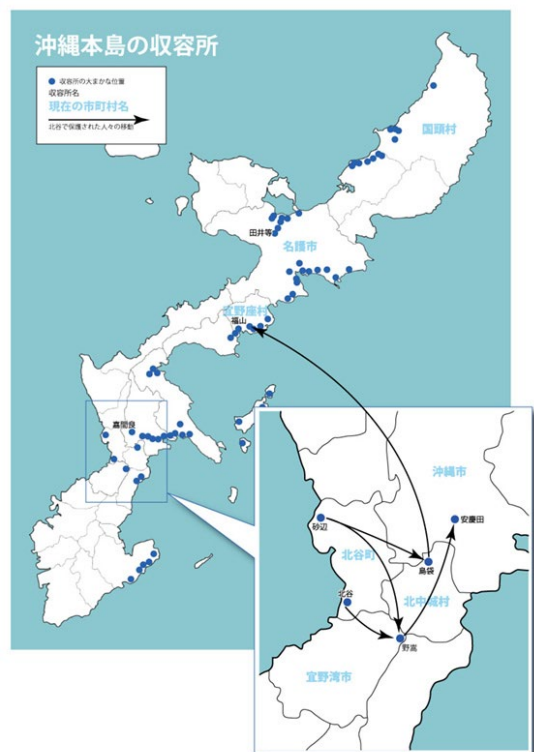


## 沖縄本島の収容所

### 沖縄本島の収容所

(『読谷村史 第5巻』275頁より加筆・作成)

多くの北谷村民が羽地村へ退去を開始する前に米軍の艦砲射撃が始まったので、実際に山原まで到達した者はわずかでした。そのため、米軍が沖縄本島に上陸した1945年(昭和20)4月1日に村内の仮設難民収容所で戦後生活をスタートした者もいれば、戦闘に巻き込まれながら逃げ回った先の収容所に収容された者など、各地で戦後生活をスタートすることになりました。しかし、中部の収容所は人数がすぐにいっぱいになったため、別の収容所へ移される人々もいました。後生活をスタートすることになりました。



『読谷村史 第5巻 資料編 4 戦時記録 下巻』275頁より加筆・作成